

澁川市教育研究所 適応指導教室(教育支援センター)「かけはし」



□開設 平成12年4月1日
 □代表者職氏名 所長 野本 泉
 □所在地 〒377-0008 澁川市澁川2536番地2
 □電話/FAX TEL(0279)24-2226・相談(0279)25-8980
 FAX(0279)25-8981

1 運営の目的

不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談・指導を行い、不登校児童生徒の社会的自立に資する。

2 令和4年度職員の構成・分担

職員	人数	業務内容
所長	1	総括
専任指導員	2	適応指導教室の指導 訪問相談
専門相談員	3	教育相談(電話・来所・訪問相談)

※指導主事は、指導全般を統括する。

3 入室対象及び受け入れ状況

(1) 入室対象

澁川市立小学校及び中学校に在籍する不登校状態にある児童生徒とし、本人及び保護者が集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談・指導を受けるために、入室を希望し、通室の意思があることを在籍校の校長が申し出た者とする。

(2) 受け入れ状況(令和3年度)

小学生8名 中学生13名 計21名

4 令和4年度開設状況

(1) 開設日時

学校の休業日を除く月曜日～金曜日
 9:30～15:30

(2) 開設期間

1学期 4月7日～7月20日
 2学期 8月29日～12月23日
 3学期 1月10日～3月24日

(3) 日時程

9:30～	○読書、一日の計画づくり
10:00～	○朝の会
10:10～	○学習①または活動
11:00～	○休憩
11:10～	○学習②または活動
12:00～	○昼食・休憩
12:45～	○教室等の掃除、動植物の飼育やかん水
13:00～	○フレンドリータイム (軽スポーツ・ゲーム等)
14:00～	○自分時間(読書・PC・学習等)
14:50～	○帰りの会、一日の振り返り
15:00～15:30	○帰宅、保護者とのチャンス 相談や情報共有

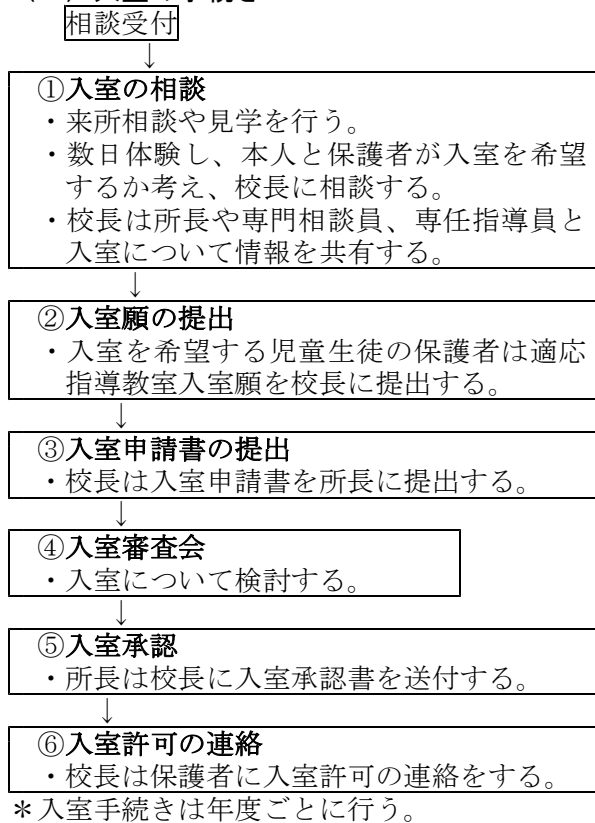
(4) 主な行事予定(令和4年度)

月	主な行事予定
4月	チャレンジ登校、職員会議①
5月	*入室のための連携会議(随時)
6月	あじさい学習、職員会議② ペアレントトーク①
7月	チャレンジ登校、1学期終業式 折り紙教室① *夏季休業中は毎水曜日通室日
8月	職員会議③、職員研修 チャレンジ登校、2学期始業式
9月	*地域教育施設の利用(随時)
10月	ふれあい教室、職員会議④ 北毛フレンドリークラブ参加
11月	三者面談月間、ふるさと学習
12月	学校訪問相談月間 職員会議⑤ 2学期終業式、折り紙教室② チャレンジ登校
1月	チャレンジ登校、3学期始業式、 *毎金曜日はチャレンジ登校
2月	卒業を祝う会 *毎金曜日はチャレンジ登校
3月	かけはし修了式、職員会議⑥ *毎金曜日はチャレンジ登校

*通室児童生徒の誕生月におたのしみ会を実施

5 入室・退室の進め方

(1) 入室の手続き



(2) 退室の手続き

退室については、保護者・本人・在籍校の校長と協議の上、所長が退室を認めた児童生徒について、在籍校の校長及び保護者にその旨を連絡する。

6 学校、家庭及び関係機関との連携

(1) 学校との連携

- 学校・家庭・適応指導教室の三者連携会議を必要に応じて開催し、同一歩調で支援できるようにする。
- 毎月1回以上、在籍校の校長や担任等による適応指導教室の参観、面談やオンライン等による情報共有の場を設け、児童生徒への対応等について共通理解を図る。
- 児童生徒の様子を在籍校の校長に毎月文書で報告し、必要に応じて学校に訪問相談を行う。
- 定期テストや学年行事等への参加については、学校と連絡を取り合って適応指導教室の指導員が対応することもある。
- チャレンジ登校を集団生活への適応等の一つとし、各学期の始業式や終業式の前後3日間、3学期の毎週金曜日をチャレンジ登校日とする。学校ときめ細かに情報共有しながら進める。
- 学校訪問相談月間を12月に実施して、学校や通室時の様子、改善に向けた取組について情報を共有しながら方向性を確認し、よりよい指導や支援ができるようにする。

(2) 家庭との連携

- 送り迎えの際に、専門相談員や専任指導員が積極的に保護者とのチャンス相談や情報の共有を行う。
- 毎月1回以上、専門相談員が保護者との相談(来所・電話・チャンス)を実施する。家庭での子どもの様子や保護者の悩みなどを聞き、家庭との連携を深める。
- ふれあい教室やペアレントトークの行事を開催して、保護者の孤立感を軽減するとともに家庭と適応指導教室とのつながりを深める。
- 三者面談月間を11月に実施して、進路指導や進学相談を行う。
- チャレンジ登校については、児童生徒本人及び保護者と相談し、その気持ちや様子に応じた取組となるよう支援する。

(3) 関係機関との連携

- ぐんまいいききチャレンジ「北毛フレンドリークラブ」に参加して、児童生徒の自立心を養うとともに、指導や援助に生かす。
- 必要に応じて、学校、スクールカウンセラー、児童相談所、こども課家庭児童相談員、病院等と連携して指導に当たる。
- 市青少年センター・こども課・学校教育課との生徒指導連絡協議会を年4回開催して情報交換や連携を深める。

7 特色ある活動

不登校児童生徒にとって、適応指導教室「かけはし」が居場所となるように温かく迎え入れている。規則正しい生活の習慣化を図り、他者とのかかわりをもてるようにしている。そして、学習習慣を身に付け、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るとともに、集団生活に自信がもてるように日々の生活で繰り返し支援している。

その上で、通室児童生徒の実態に応じて様々な活動を行っている。人間関係を豊かにする活動として、毎日フレンドリータイムを設け、みんなで活動内容を協議して軽スポーツやカードゲーム等に取り組んでいる。市内の史跡や施設を活用したあじさい学習やふるさと学習、美術館見学、図書館利用等を実施している。お楽しみ会(誕生日のお祝いとお菓子作り等)の立案・実施、折り紙教室等の体験活動等ができるようにしている。

子どもと保護者のふれあいを深めるためのふれあい教室、保護者同士で悩みや情報交換をするペアレントトークも開催している。

毎学期の始めと終わりの3日間と、3学期の毎週金曜日をチャレンジ登校日とし、集団生活への適応等を促す機会としている。

*令和5年1月改訂